

7. 水源地域動態

7.1 流域の概要

7.1.1 水源地域の概要

九頭竜川流域は、福井県嶺北地方の7市4町(大野市と旧和泉村が合併、福井市と旧清水町、旧美山町が合併、旧芦原町と旧金津町が合併しあわら市、旧坂井町と旧春江町、旧丸岡町、旧三国町が合併し坂井市、旧朝日町と旧織田町、旧宮崎村が合併し越前町、旧今立町と旧武生市が合併し越前市、旧南条町と旧今庄町、旧河野村が合併し南越前町、旧上志比村と旧永平寺町、旧松岡町が合併し永平寺町、勝山市、鯖江市)を中心に、岐阜県郡上市石徹白地区(旧白鳥町)を含め2県の8市4町にまたがっている。

九頭竜川の流域では、古代から人々の生活の跡が、いろいろな地区で見られる。流域での生活の様子は、九頭竜川本川、日野川、足羽川の三大河川がもたらす恵み多い自然の中で、大和や京都の影響を受けながら風土に根ざした文化を育み、歴史を刻んできた姿を数多い遺跡や古墳、文化財などから窺い知ることができる。

現在は、福井平野を中心に武生盆地や大野盆地などで市街地の拡大伸展が見られる。人口は、福井平野を中心とした西側の市町で増加傾向にあり、東側の山間部市町では減少傾向が見られる。西側市町の核は、商業・サービス業を中心とする福井市、工業や商業を中心とする鯖江市と越前市である。また、農業は福井平野を中心として展開されており、東側山間部市町村では若干の工業の展開が見られるものの、林業の不振もあって過疎化が進みつつある。

大野市域の約80%を占める森林がもたらす「水」は、名水百選「御清水」^{おしろうず}に代表されるように、大野市の大きな魅力となっている。清らかで豊かな水は、農業をはじめ素晴らしい食文化を育んできた他、地場産業の繊維工業の振興にも大きな役割を果たしてきた。一方、市街地は戦国時代からの町割りが色濃く残り、城下町の風情を味わうことができる歴史と文化に満ちた空間となっている。今日まで脈々と受け継がれてきた幕末の大野藩に代表される進取の精神や、シンボルの亀山、越前大野城、寺町等は市民の誇りである。

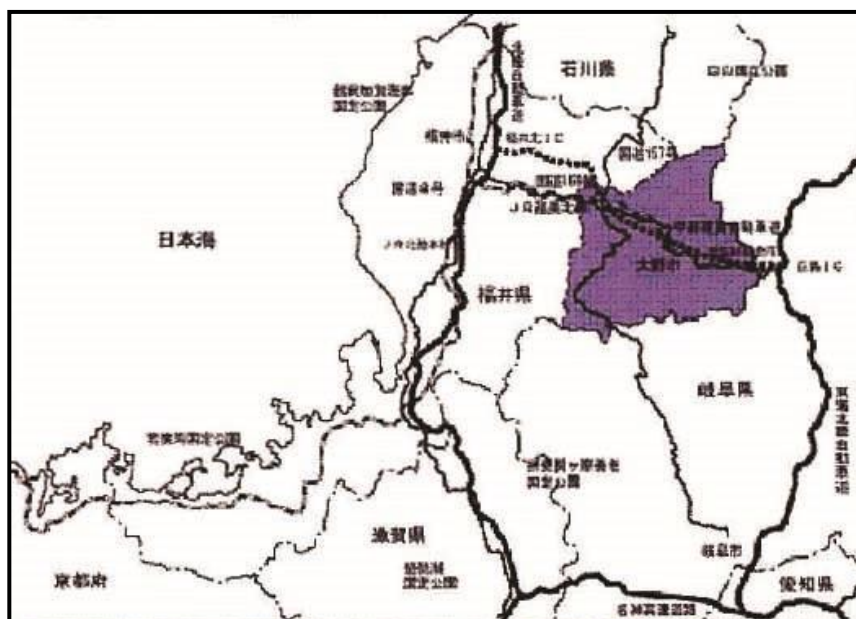


図 7.1-1 水源地域の太野市概略位置図

7.1.2 ダムの立地条件

九頭竜ダムの水源地域は福井県大野市に位置している。平成 17 年 11 月 7 日に大野市と和泉村が合併し、新「大野市」が誕生した。同市の人口は 35,291 人（平成 22 年国勢調査）、面積は 872.30km²と福井県最大であり、その約 87%を森林が占めている。

【出典：大野市勢要覧 2007】

大野市は、福井県の東端に位置し、東と南は岐阜県、西は福井市と池田町、北は勝山市と石川県に接している。

県都福井市から九頭竜ダムまでの距離は約 60km で、JR 越美北線や国道 158 号線を利用し約 1 時間 30 分の距離にある。また、大野市の市街地、岐阜県郡上市からも車で約 50 分の距離にあり、東海北陸自動車道等を利用すれば中京圏からも日帰り圏の距離にある。

水源地域を東西に通る国道 158 号は、福井県と岐阜県を結ぶ北陸、中部経済圏の産業、文化の交流を図る幹線道路で、地域の振興に欠かすことのできない道路である。

鉄道は、JR 越美北線(九頭竜線)が国道 158 号にほぼ平行して走り、福井駅で JR 北陸本線と接続している。

また、現在建設中の中部縦貫自動車道(一部開通)は水源地域を東西に通過する計画となっており、完成すれば東海北陸自動車道で中京圏と、北陸自動車道で関西圏との時間距離が短縮される。福井県の東玄関口となる奥越前にとって地域活性化の強力な起爆剤になると期待されている。

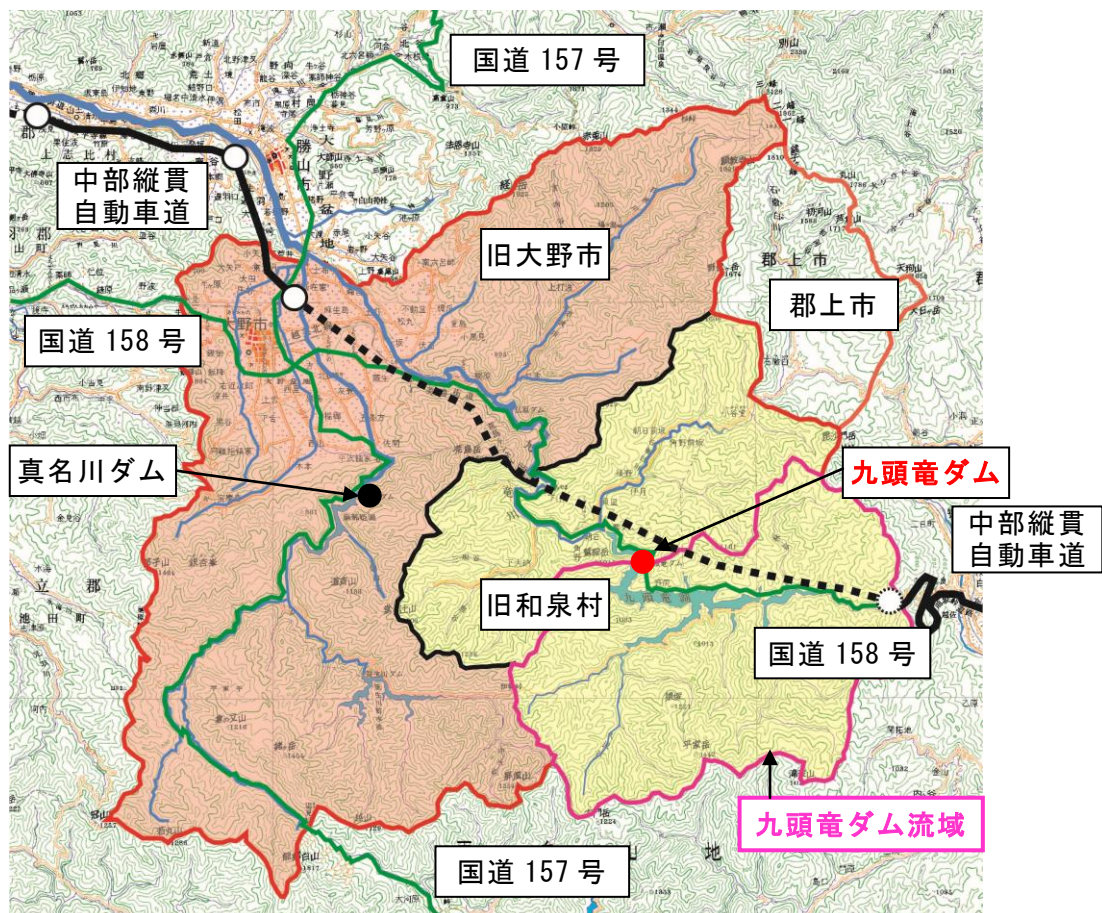


図 7.1-2 九頭竜ダム周辺の概略道路図

注) 現在の太野市は、旧大野市と旧和泉村が合併している。



図 7.1-3 中部縦貫自動車道(大野市周辺)の概要

【出典：福井河川国道事務所 記者発表資料 平成 25 年 2 月 15 日】

交通アクセス(大野まで)

	福井まで	大野まで
●東京から		
JR/東海道新幹線・北陸特急で	約 3 時間 30 分	}
飛行機/羽田～小松～福井(バス)	約 2 時間	
自動車/東名・名神・北陸自動車道	約 6 時間 30 分	
高速バス/東京駅八重洲南口～福井	約 8 時間 20 分	
●大阪から		
JR/湖西線特急で	約 1 時間 50 分	}
自動車/名神・北陸自動車道	約 3 時間	
高速バス/阪急三番街～福井	約 3 時間 30 分	
●名古屋から		
JR/北陸線特急で	約 2 時間	}
自動車/名神・北陸自動車道	約 2 時間	
高速バス/名鉄バスセンターJR 名古屋駅～福井	約 2 時間 50 分	

・JR 越美北線で
約 1 時間
・京福バス大野線で
約 1 時間

【出典：福井県観光マップ】

7.2 ダム事業と地域社会情勢の変遷

(1) 水源地域の人口・世帯数の推移

九頭竜ダムの水源地域である大野市和泉地区(旧和泉村)における人口及び世帯数は、昭和40年～昭和45年にかけてダム建設に伴う移転のため大きく減少した。移転世帯の移転先は約80%が岐阜県や愛知県であり、福井県内は約12%、うち大野市は約8%に過ぎなかった。

その後、産業の衰退(昭和62(1987)年の中竜鉱山閉鎖や林業の不振等)等に伴い、減少率の鈍化はあるものの人口は減少している。

表 7.2-1 大野市和泉地区(旧和泉村)の人口・世帯数の推移

旧和泉村	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
人口(人)	5,266	5,723	2,453	1,879	1,478	1,192	846	824	752	669	541
5年間の増減率	—	8.7%	-57.1%	-23.4%	-21.3%	-19.4%	-29.0%	-2.6%	-8.7%	-11.0%	-19.1%
世帯数(世帯)	1,116	1,147	690	569	540	440	295	295	284	253	226

【出典：国勢調査 昭和35年～平成22年】

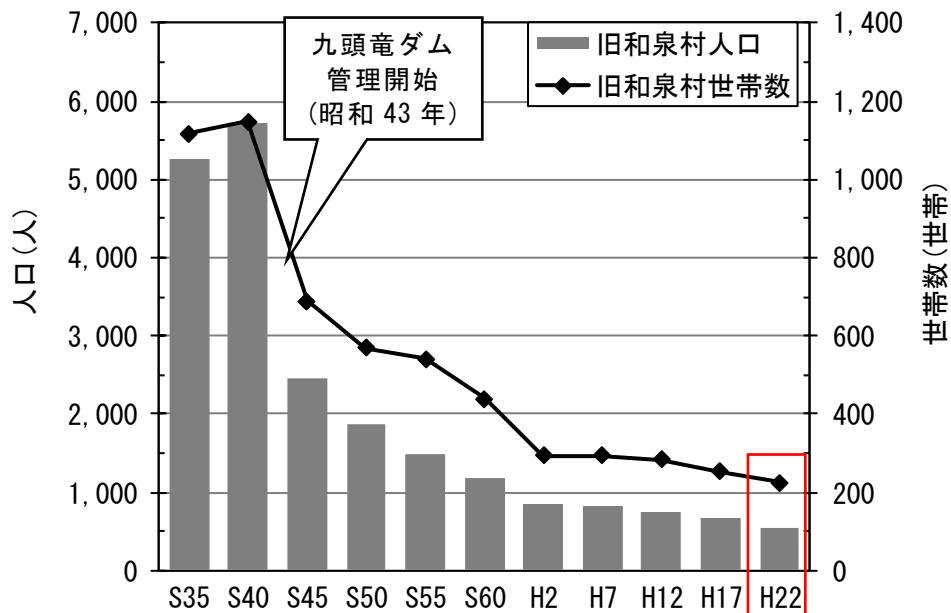


図 7.2-1 大野市和泉地区(旧和泉村)の人口・世帯数 経年変化

【出典：国勢調査 昭和35年～平成22年】

(2) 産業別就業者人口

大野市和泉地区(旧和泉村)における事業所数の経年変化を図7.2-2、産業別就業者数の経年変化を図7.2-3に示す。

大野市和泉地区(旧和泉村)においては、事業所数、就業者数ともに減少している。

産業別就業者比率は、昭和35(1960)～40(1965)年ではダム建設工事に伴う第二次産業就業者数比率が増加したが、昭和40(1965)～45(1970)年にかけて、ダム建設に伴う移転やダム建設事業が終わったため大きく減少した。

その後も、第一次、第二次産業の衰退（昭和 62(1987)年の中竜鉦山閉鎖や林業の不振、高齢化に伴う農業就業者数の減少）等に伴い、減少率の鈍化はあるものの第一次産業、第二次産業の就業者数が減少し、第三次産業の就業者人口割合が増加している。

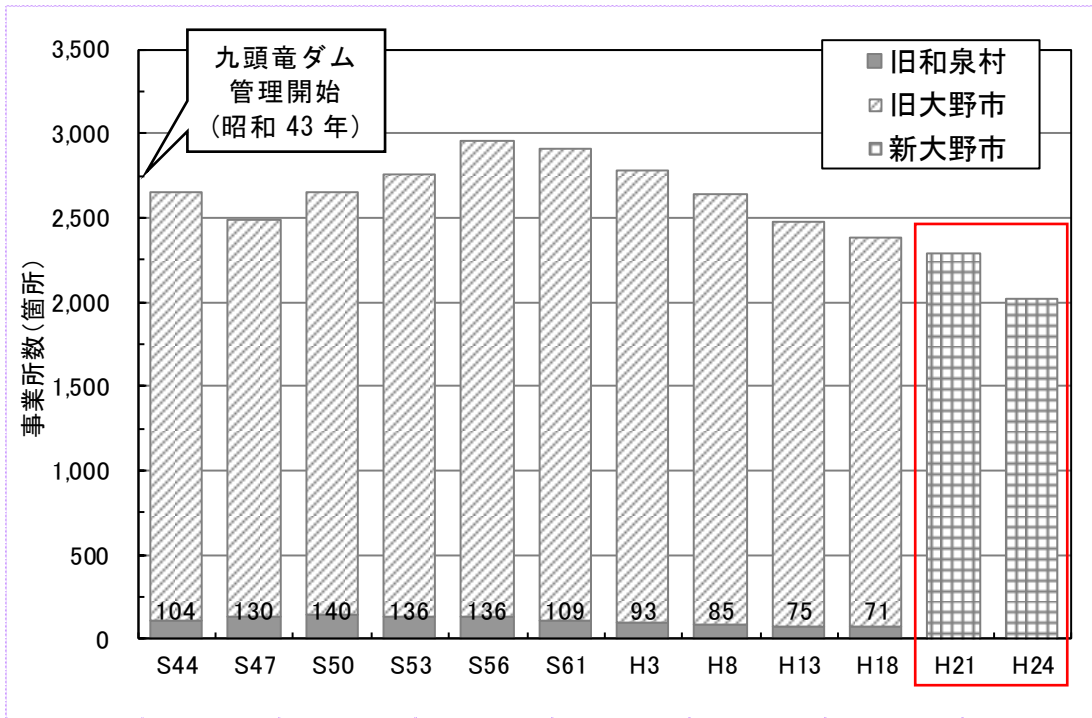


図 7.2-2 大野市(旧大野市・旧和泉村)の事業所数 経年変化

【出典：事業所・企業統計調査 昭和 44 年～平成 24 年】

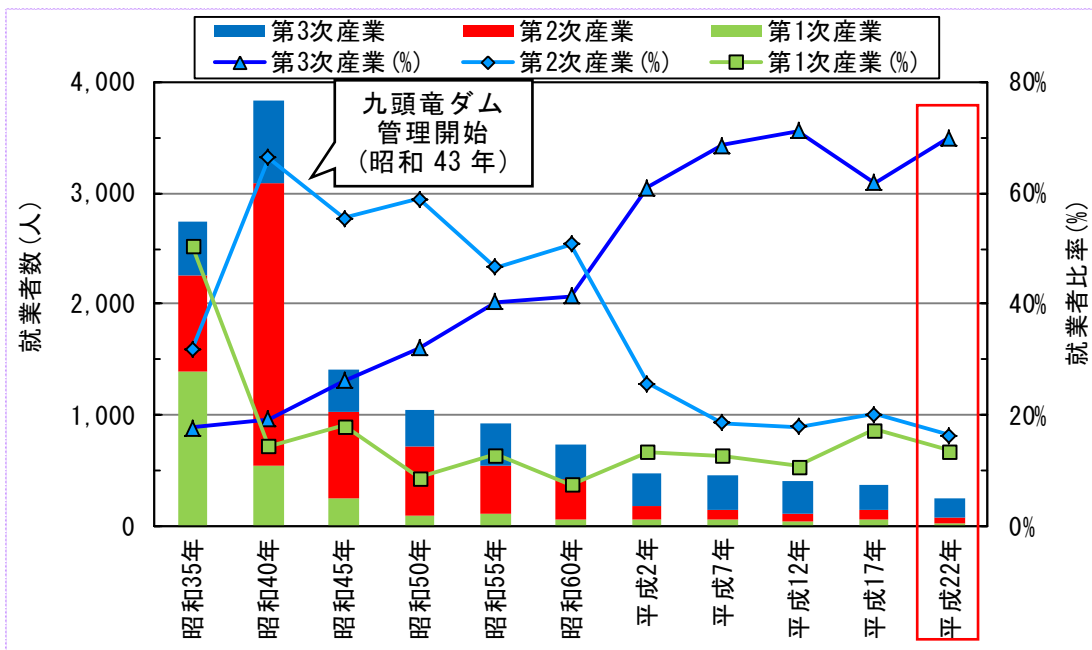


図 7.2-3 旧和泉村の就業者数及び就業者比率 経年変化

【出典：事業所・企業統計調査 昭和 44 年～平成 24 年】

(3) 観光イベント等の開催

水源地域の大野市和泉地区(旧和泉村)では、次のような観光イベントが開催されている。

表 7.2-2 大野市和泉地区(旧和泉村)における開催イベント

月	イベント名	会場	内容
5	荒島山開き(芽吹祭)	蕨生駐車場	安全祈願祭、記念登山
	九頭竜新緑まつり	九頭竜国民休養地	新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナー、化石発掘体験、流木チェーンソーアート、木工教室等
7	森と湖に親しむ旬間	九頭竜ダム他	九頭竜ダム・長野地下発電所見学会、パネル展示、流木工作教室、流木の配布
10	九頭竜紅葉まつり	九頭竜国民休養地	紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、流木作品展示、くらしの情報コーナー、トロッコ列車乗車体験、化石発掘体験等

◆荒島山開き(芽吹祭)(5月)

荒島岳山開き(芽吹祭)は5月上旬の日曜日に開催される。

荒島岳は、奥越高原県立自然公園のほぼ中央にそびえ、その秀麗な山容から「大野富士」とも呼ばれる奥越の名峰で、福井県内では唯一の「日本百名山」に選ばれている。



◆九頭竜新緑まつり(5月)

新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナー、化石発掘体験、流木チェーンソーアート、木工教室等が開催されている。新緑市場では、山菜やてんぷらなどの春の旬の味覚販売も行っている。



◆森と湖に親しむ旬間(7月)

森と湖に親しみ心身をリフレッシュしながら、森林やダム湖の重要性について理解を深めていただくためことを目的としている。九頭竜ダム・長野地下発電所見学会、パネル展示、流木工作教室、流木の配布等が開催されている。



◆九頭竜紅葉まつり(10月)

紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、流木作品展示、くらしの情報コーナー、トロッコ列車乗車体験、化石発掘体験等が開催されている。中竜鉦山の坑内で実際に使用されていたトロッコ列車の乗車体験や、特産の穴馬かぶら、まいたけなどの即売会等が行われる。



【出典：九頭竜川ダム統合管理事務所資料】

7.3 ダムと地域の関わりに関する評価

7.3.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

九頭竜ダムは、大野市和泉地区(旧和泉村)に立地するダムで、周辺は福井県内でも有数の林業地帯でもある。都市域との広域的な交流は比較的利便性が良く、大野市街との連携・ネットワークにより、その活用が大いに見込める条件にある。

(1) 九頭竜ダム水源地域ビジョン(平成17年3月策定、平成18年2月に真名川ダム水源地域ビジョンと統合)

「九頭竜ダム水源地域ビジョン」は、九頭竜ダム・九頭竜湖及びそれを取り巻く豊かな自然を保全し、活かしながら進める流域圏活性化のためのビジョンであり、平成17年3月に策定され、平成18年2月真名川ダム水源地域ビジョンと統合された。

九頭竜ダム水源地域ビジョンの基本方針を図7.3-1に、施策の実施イメージを図7.3-2に示す。

【九頭竜ダム水源地域ビジョン 基本方針】

—水辺の活用—

- 九頭竜湖と湖に流れ込む支川、石徹白川、大納川など、大野市和泉地域を流れる美しい清流とその水辺空間を保全し、水にふれあえる場としての利用を図ります。
- 大野市和泉地域を象徴する広大なダム湖である九頭竜湖をカヌー体験やフィッシング体験などの場として活用します。
- 石徹白川、大納川、九頭竜川の親水エリア、九頭竜湖周の水辺の一体的な魅力を向上し、水辺スポットへの誘導を図ります。

—森林資源の保全と活用—

- 流域の森林は、九頭竜川の水を育む水源林として重要な役割を果たしていますが、近年の過疎・高齢化の進行や林業経営をとりまく社会状況の変化により山林の荒廃が懸念されており、その適正な状態の保全を図ります。
- 森林の恵みを体感し、森からもたらされる森林資源を活用した体験型活動拠点づくりを進めます。

—ふれあいと交流—

- 山村の歴史を受け継いできた人々の心、大野市を愛し、自然・文化を楽しむ心がふれあう機会をさらに広げていきます。
- 大野市和泉地域の自然・文化に魅了されている地域外の和泉ファンと地域住民とのイベントにおける交流や情報の交流をさらに進めます。

図 7.3-1 九頭竜ダム水源地域ビジョンの基本方針

【出典：九頭竜ダム水源地域ビジョン 平成17年3月】

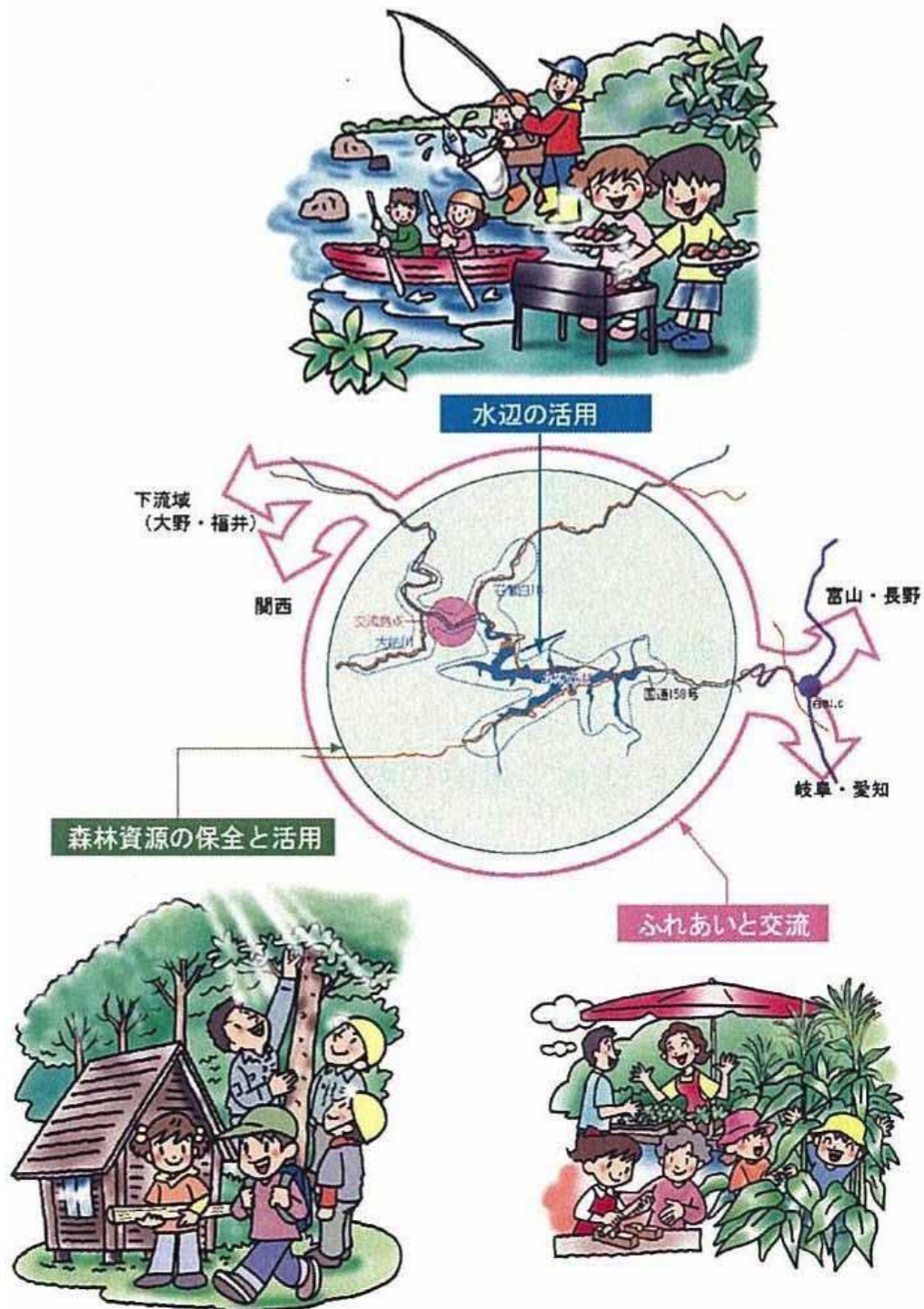


図 7.3-2 九頭竜ダム水源地域ビジョン 施策の実施イメージ

【出典：九頭竜ダム水源地域ビジョン 平成 17 年 3 月】

(2) 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンの推進

平成 17 年 11 月の旧大野市と旧和泉村の合併に伴い、真名川ダム・九頭竜ダムの水源地域ビジョンを一体的に推進するため、平成 18 年 2 月に「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会」が設立された。

「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン」は、ダム水源地域の自治体・住民等がダム事業者・管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体・住民や関係行政機関に参加を呼びかけながら策定する、水源地域活性化のための行動計画である。

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンでは、「森林」、「水」、「交流」を 3 つの柱のもとに水源林の保全や活用、健全な水環境の形成、多様な水辺の活用、活発な地域間の交流など様々な施策を実行することにより、水源地域の持続的な発展を目指す。

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンの活動イメージおよび施策概要図を図 7.3-3 および図 7.3-4 に示す。



図 7.3-3 真名川ダム・九頭竜川ダム水源地域ビジョンの活動イメージ

【出典：九頭竜川ダム統合管理事務所資料】

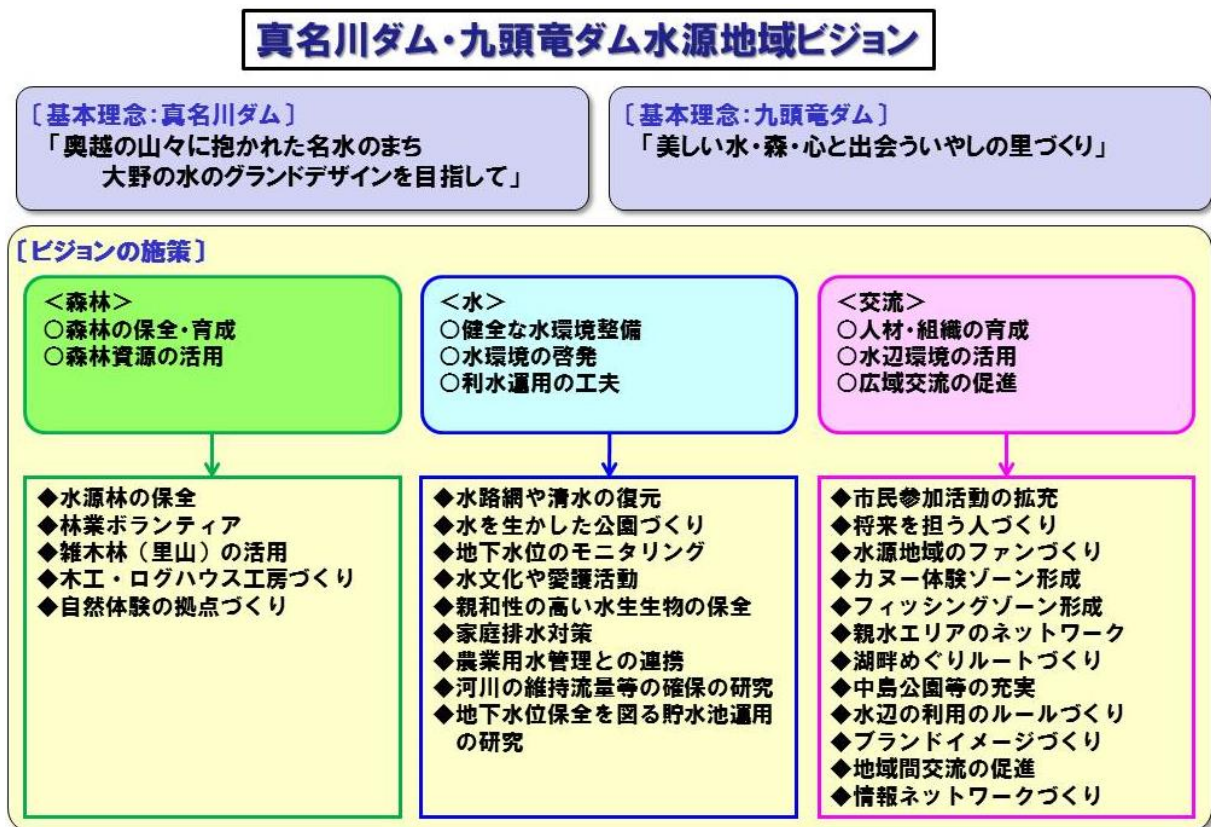


図 7.3-4 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン 施策概要図

【出典：真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン 平成 18 年 2 月】

7.3.2 地域とダムとの関わり

九頭竜ダムでは、地元地域の市町村との関わりとしてダム見学会開催などの様々な活動を実施している。平成20(2008)～24(2012)年の活動を表7.3-1に示す。

5ヶ年とも開催されているイベント等は、九頭竜新緑まつり、森と湖に親しむ旬間行事、九頭竜紅葉まつり、ダム周辺の紅葉情報の提供、ダムカードの配布、九頭竜ダム展示室の公開である。

表 7.3-1 九頭竜ダムにおける地域との交流に係る活動(その1)

開催日	イベント名	開催場所	イベント内容	参加人数	主催者
平成20年5月17～18日	九頭竜新緑まつり	九頭竜国民休養地	新緑ステージ、市場、茶席、子供の広場、体験広場	20,000人	大野市、(社)大野市観光協会
平成20年7月26～27日	森と湖に親しむ旬間全国行事「森と湖に親しむつどい2008 九頭竜湖・麻那姫湖サマーフェスタ」	九頭竜国民休養地	メイン会場 シンボルフラッグ紹介、 「森と湖のある風景画コンクール」表彰式 記念植樹 野外催事 森と湖のクイズラリー、自然工作教室、 木製迷路、昆虫とのふれあい館、 水とふれあい広場、木登り体験、 森と湖で働く自動車展、 少年サッカー大会、トロッコ列車試乗体験	10,158人	平成20年度九頭竜ダム・真名川ダム「森と湖に親しむ旬間」全国行事現地実行委員会
		九頭竜ダム	九頭竜ダム見学、巡視艇試乗体験、 間伐材と流木工作教室、 九頭竜昆虫とのふれあい、発電所見学、 エネルギー工作教室	2,176人	
		下半原地区	カヌー教室、キャンプ体験、森の工作教室、 源流トレッキング	1,063人	
平成20年10月25～26日	九頭竜紅葉まつり	九頭竜国民休養地	紅葉ステージ、市場、茶屋、和菓子市、 子供の広場、体験広場	50,000人	大野市、 (社)大野市観光協会
平成20年10月10～11月21日	ダム周辺の紅葉情報の事務所HPでの提供	九頭竜ダム管理支所周辺 箱ヶ瀬橋周辺	ダム湖周辺の紅葉の状況を、ダム管理所職員がダム湖を巡視した際に写真を撮り、「紅葉情報」として毎週九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供	—	九頭竜川ダム統合管理事務所
通年	ダムカードの配布	九頭竜ダム	ダム管理所にて来訪者にダムカードを配布	2,179枚 (別に森と湖に親しむ集い2008記念版1,266枚)	九頭竜川ダム統合管理事務所
	九頭竜ダム展示室	九頭竜ダム管理支所1F	九頭竜ダムの概要、洪水調節、発電、周辺の観光等のパネルを展示	—	—
平成21年4月(発行)	九頭竜ダム環境マップの作成	九頭竜ダム管理支所	ダム湖周辺の自然環境を楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境をわかりやすく紹介したポケットサイズのマップ。全12ページで構成(無料配布)	—	九頭竜川ダム統合管理事務所
平成21年5月16、17日	第23回九頭竜新緑まつり	九頭竜国民休養地	新緑ステージ、市場、茶席、遊びの広場、トロッコ列車体験等	約8,000人	大野市、 (社)大野市観光協会
平成21年6月7日	第60回全国植樹祭奥越会場「奥越まちながグリーンフェスタ」	越前おおの結ステーション (大野市有終西小学校跡地)他	プロローグ(保育園児による演奏会)、記念式典、一般植樹、体験型イベント、実演・展示・販売等	約8,000人	大野市、勝山市、 福井県奥越農林総合事務所、 福井放送(株)、 大野商工会議所他
平成21年6月21日	越前大野エコフィールドコスモスの播種イベント	越前大野エコフィールド	コスモスの種まき、こどものトラクター乗車体験、どんぐり苗の草取り	約100人	越前おおのエコフィールド管理・運営協議会
平成21年6月～11月	カヌー体験インストラクター補助員養成講習	九頭竜ダム	九頭竜湖におけるカヌー体験希望者の技術面・安全面からのサポート強化	12人(認定)	NPO法人九頭竜自然楽校
平成21年7月18～19日	もりみずカップ2009少年サッカー大会	奥越ふれあい公園陸上競技場	平成20年の「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルとして、九頭竜川水系もたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身ともに健全な発育を図るため、九頭竜川・大野市にゆかりのある少年サッカーチームを招き、相互の親善を深めるとともに、個人技術の上達を図る	(延べ12チーム)	フェンテ大野フットボールクラブ
平成21年7月26日	森と湖に親しむ旬間「九頭竜ダム・長野地下発電所見学会」	九頭竜ダム 長野発電所	ダムゲート室や連絡通路などの見学、 流木の配布、地下発電所の見学	九頭竜ダム会場 約300人 長野発電所 320人	森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会、九頭竜川ダム統合管理事務所、福井森林管理署、福井県、大野市、電源開発(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)
平成21年9月12～13日	名月観賞と篠笛の調べ	ふれあい会館(九頭竜湖駅横)	自然とふれあいながら篠笛の演奏	40人	和泉自治会
平成21年10月12日	越前大野エコフィールドドングリの苗づくりイベント	越前大野エコフィールド	ドングリ拾い、ドングリ根付け(6,000個)、マルチ掛け、H20年度苗の植替え	約200人	越前おおのエコフィールド管理・運営協議会
平成21年10月16～11月27日	ダム周辺の紅葉情報の事務所HPでの提供	九頭竜ダム管理支所周辺 箱ヶ瀬橋周辺	ダム湖周辺の紅葉の状況を、ダム管理所職員がダム湖等を巡視した際に写真を撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供	—	九頭竜川ダム統合管理事務所
平成21年10月24～25日	第30回九頭竜紅葉まつり	九頭竜国民休養地	紅葉ステージ、市場、茶席、遊びの広場、 化石発掘体験等	約55,000人	大野市、 (社)大野市観光協会
平成21年10月30日	越前大野エコフィールド「菜の花(キザキノナタネ)」の播種	越前大野エコフィールド	菜の花(キザキノナタネ)の種まき	—	越前おおのエコフィールド管理・運営協議会
平成21年11月1日	「水源地の森づくり」第4回植樹会	九頭竜湖 林谷(九頭竜ダム上流 下半原地区)	苗木植樹(コナラ、クスギ、シラカシ140本)	30人	真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会
通年	ダムカードの配布とダムマニアとの連携	九頭竜ダム他	ダム管理所にて来訪者にダムカードを配布 九頭竜新緑まつり(平成21年5月)で、ダムマニア写真展 森と湖に親しむ旬間(平成21年7月)で、「ダムマニア」の方が撮られた様々なダムの写真を展示。全国からダムマニアの方が展示ブースの案内者として参加	(配布数) 1,582枚	九頭竜川ダム統合管理事務所
	九頭竜ダム展示室	九頭竜ダム管理支所1F	九頭竜ダムの概要、洪水調節、発電、周辺の観光等のパネルを展示	—	—

【出典：真名川ダム他年次報告書作成業務 平成22年1月
九頭竜ダム年次報告書作成業務 平成23年2月】

表 7.3-1 九頭竜ダムにおける地域との交流に係る活動(その2)

開催日	イベント名	開催場所	イベント内容	参加人数	主催者
平成22年5月15～16日	第24回九頭竜新緑まつり	九頭竜国民休養地	・新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、憩いの茶席など ・越前大野城築城430年祭記念企画「面谷鉱山ツアー」を実施	約25,000人	大野市、(社)大野市観光協会
平成22年5月29日	JP子どもの森づくり運動	下半原ふれあい湖畔	園児たちが、平成20年秋に「国民休養地」で拾って育てたどんぐりの苗木約40本と、園長先生が育てた苗木約40本を保護者とともに植樹。植樹後は、九頭竜湖でカヌー体験。	63人	NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク
平成22年6月20日	越前大野エコフィールドコスモスの播種イベント	越前大野エコフィールド	・コスモスの種まき ・どんぐり畑の草取り ・子どものトラクター乗車体験	約100人	越前おおのエコフィールド管理・運営協議会
平成22年7月17～18日	もりみずカップ2010 少年サッカー大会	奥越ふれあい公園陸上競技場	平成20年の「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルとして、九頭竜川水系のもたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身ともに健全な発育を図るため、九頭竜川・大野市にゆかりのある少年サッカーチームを招き、相互の親善を深めるとともに、個人技術の上達を図る。今年度は、越前大野城築城430年市民自主事業としても実施。	(延べ12チーム)	フェンテ大野フットボールクラブ
平成22年7月24～25日	九頭竜湖カヌーフェスティバル2010	九頭竜湖及び前坂キャンプ場	・前夜祭、交流会(24日) ・ドラゴンカヌーツーリング ・カヌー体験講座 ・流木アート講座 ・水辺の清掃活動 等	143人	NPO法人九頭竜自然楽校
平成22年7月25日	森と湖に親しむ旬間行事「九頭竜ダム・長野地下発電所見学会」	九頭竜ダム長野発電所	・ダムゲート室や連絡通路などの見学 ・ダムマニアの写真展 ・流木の配布と流木工作教室の開催 ・地下発電所の見学	九頭竜ダム会場 約520人 長野発電所 290人	森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会、九頭竜川ダム統合管理事務所、福井森林管理署、福井県、大野市、電源開発(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)
平成22年8月21、22日	ログハウス講座	越前大野エコフィールド	ログハウスの移設を目的に、ログハウス建築の全工程を体験する。	22人	NPO法人九頭竜自然楽校
平成22年8月31日	シンボルフラッグ進呈	大野市 市長室	「もりみずカップ少年サッカー大会」が今後とも継続されることを願い、平成20年の全国行事で使用された「森と湖に親しむ旬間」のシンボルフラッグを大野市を通じて、もりみずカップ実行委員会へ進呈した。	-	九頭竜川ダム統合管理事務所
平成22年10月11日	越前大野エコフィールドどんぐりの苗づくりイベント	越前大野エコフィールド	・どんぐり拾い ・マルチ掛け ・どんぐり植付け(約2,000個) ・どんぐり苗の植替え	約200人	越前おおのエコフィールド管理・運営協議会
平成22年10月22日～11月25日	ダム周辺の紅葉情報の事務所HPでの提供	九頭竜湖周辺	ダム湖周辺の紅葉の状況を、ダム管理所職員がダム湖を巡視した際に写真を撮り、「紅葉情報」として毎週九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供	-	九頭竜川ダム統合管理事務所
平成22年10月30～31日	第31回九頭竜紅葉まつり	九頭竜国民休養地	・紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、紅葉茶屋、流木コーナーなど ・越前大野城築城430年祭記念企画「面谷鉱山パネル展」を開催	約50,000人	大野市、(社)大野市観光協会
通年	ダムカードの配布	九頭竜ダム	ダム管理所にて来訪者にダムカードを配布	1,828枚 (累計5,589枚)	-
	九頭竜ダム環境マップの配布	九頭竜ダム管理支所	ダム湖周辺の自然環境を楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境をわかりやすく紹介したポケットサイズのマップ。全12ページで構成(無料配布)平成21年4月に初版1,000部を発行し、平成22年12月に2,000部増刷。	-	九頭竜川ダム統合管理事務所
	九頭竜ダム展示室	九頭竜ダム管理支所1F	九頭竜ダムの概要、洪水調節、発電、周辺の観光等のパネルを展示	-	-
平成23年5月14～15日	第25回九頭竜新緑まつり	九頭竜国民休養地	・新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナーなど ・第25回を記念してお弁当コンテストを実施	約24,800人	大野市、(社)大野市観光協会
平成23年7月9～10日	第4回もりみずカップ少年サッカー大会	奥越ふれあい公園陸上競技場	平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルイベントとして、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、技術の向上のみならず、相互の親善を図るため開催。国土交通省から「森と湖に親しむ旬間の全国行事」の開催地を持ちまわっていたシンボルフラッグが、本大会の優勝旗として贈呈され、本年度から優勝チームが持ちまわることとなった。	(延べ12チーム)	フェンテ大野フットボールクラブ
平成23年7月23～24日	九頭竜湖カヌーフェスティバル2011	九頭竜湖及び前坂キャンプ場	・前夜祭・参加者交流会(23日) ・ドラゴンカヌーツーリング ・水辺の清掃活動 ・カヌー体験 ・流木アート教室	-	NPO法人九頭竜自然楽校
平成23年7月23日	森と湖に親しむ旬間行事	スターランドさかだに	森の恵みでクラフトづくりを実施。	-	-
平成23年7月24日	森と湖に親しむ旬間行事「九頭竜ダム・長野地下発電所見学会」	九頭竜ダム長野発電所	・ダムゲート室や連絡通路などの見学 ・流木のプレゼントと流木工作教室の開催 ・地下発電所の見学 ・水力発電の魅力を紹介	九頭竜ダム会場 約560人 長野発電所 370人	森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
平成23年8月5～7日	九頭竜・森と湖のキャンプ2011	前坂キャンプ場、下半原ふれあい湖畔、体験農園	平成20年度より(独)国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業の自然体験活動分野として開催しており、今年度で4回目の開催。	51人	NPO法人九頭竜自然楽校
平成23年10月10日	越前おおのエコフィールドどんぐりの苗づくりイベント	越前おおのエコフィールド	・どんぐり拾い ・マルチ掛け ・どんぐり植付け(約5,000個) ・どんぐり苗の植替え	約200人	越前おおのエコフィールド管理・運営協議会
平成23年10月14日～11月21日	ダム周辺の紅葉情報をHPで提供	九頭竜ダム湖周辺	ダム湖周辺の紅葉の状況を、ダム管理所職員がダム湖を巡視した際に写真を撮り、「紅葉情報」として毎週九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供	-	九頭竜川ダム統合管理事務所
平成23年10月29～30日	第32回九頭竜紅葉まつり	九頭竜国民休養地	・紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、流木コーナー、くらしの情報コーナーなど ・越前美濃街道広域観光交流推進協議会でPR	約60,000人	大野市、(社)大野市観光協会
通年	ダムカードの配布	九頭竜ダム	ダム管理所にて来訪者にダムカードを配布	1,731枚 (累計7,284枚)	-
	九頭竜ダム環境マップの配布	九頭竜ダム管理支所	ダム湖周辺の自然環境を楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境をわかりやすく紹介したポケットサイズのマップ。全12ページで構成。ダム見学に来られた方及び森と湖に親しむ旬間行事ダム見学会、九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで配布。	-	九頭竜川ダム統合管理事務所
	九頭竜ダム展示室	九頭竜ダム管理支所1F	九頭竜ダムの概要、洪水調節、発電、周辺の観光等のパネルを展示	26,434人	-

【出典：ダム管理フォローアップ年次報告書作成業務 平成24年1月
ダム管理フォローアップ年次報告書作成他業務 平成25年3月】

表 7.3-1 九頭竜ダムにおける地域との交流に係る活動(その3)

開催日	イベント名	開催場所	イベント内容	参加人数	主催者
平成24年5月19～20日	第26回九頭竜新緑まつり	九頭竜国民休養地	・新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナー、流木チェーンソーアート、木工教室など	約26,300人	大野市、九頭竜まつり実行委員会
平成24年5月26日	植樹会&ドラゴンカヌー体験会	下半原ふれあい湖畔	・子どもの森づくり運動の一環で幼稚園児が広場で拾ったどんぐりを園で3年間ほど育て、九頭竜湖畔に植樹 ・ドラゴンカヌーの体験	幼稚園児と保護者約120名	NPO法人九頭竜自然楽校
平成24年6月17日、7月1日、8日、21～22日、28日、8月5日	カヌーを使った水辺の安全教室	九頭竜湖(下半原)、B & G 海洋センタープール	着衣泳、カヤック・カナディアンカヌーの操縦など	延べ75人	大野市教育委員会
平成24年7月7～8日	第5回もりみずカップ少年サッカー大会	奥越ふれあい公園陸上競技場	平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルイベントとして、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、技術の向上のみならず、相互の親善を図るため開催。	(延べ12チーム)	もりみずカップ実行委員会、フェニテ大野フットボールクラブ
平成24年7月29日	森と湖に親しむ旬間行事「九頭竜ダム・長野地下発電所見学会」	九頭竜ダム 長野発電所	・ダムゲート室や連絡通路などの見学 ・地下発電所の見学 ・水力発電の魅力を紹介	九頭竜ダム会場 約250人 長野発電所 280人	
平成24年10月8日	越前おおのエコフィールドどんぐりの苗づくりイベント	越前おおのエコフィールド	・ドングリ拾い(親子連れ中心) ・ドングリ苗木の植樹(2年ものの苗木など約170本を平家平に植樹) ・ドングリの種まきと1年ものの苗木の越冬準備	約220人	越前おおのエコフィールド管理・運営協議会
平成23年10月22日～11月26日	ダム周辺の紅葉情報の事務所HPでの提供	九頭竜ダム湖周辺	ダム湖周辺の紅葉の状況を、ダム管理所職員がダム湖を巡視した際に写真を撮り、「紅葉情報」として毎週九頭竜川ダム統管理事務所ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供	-	九頭竜川ダム統管理事務所
平成24年10月27～28日	第32回九頭竜紅葉まつり	九頭竜国民休養地	・紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、流木作品コーナー、くらしの情報コーナー、トロッコ列車乗車体験、化石発掘体験など ・越前業濃街道広域観光交流推進協議会PR	約58,000人	大野市、九頭竜まつり実行委員会
平成24年11月3日	九頭竜湖・紅葉カヌーツーリング2012	九頭竜湖	全国のカヌー愛好者や自然体験活動団体の九頭竜湖の積極的な活用促進のため、子どもたちが「森と湖」の多様な自然と環境を体験する機会を提供	-	NPO法人九頭竜自然楽校
通年	ダムカードの配布	九頭竜ダム	ダム管理所にて来訪者にダムカードを配布	2,479枚 (累計9,763枚 :平成24年12月末現在)	
	九頭竜ダム環境マップの配布	九頭竜ダム管理支所	ダム湖周辺の自然環境を楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境をわかりやすく紹介したポケットサイズのマップ。全12ページで構成。ダム見学に来られた方及び森と湖に親しむ旬間行事ダム見学会、九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで配布。	-	九頭竜川ダム統管理事務所
	九頭竜ダム展示室	九頭竜ダム管理支所1F	九頭竜ダムの概要、洪水調節、発電、周辺の観光等のパネルを展示	22,251人	

【出典：ダム管理フォローアップ年次報告書作成他業務 平成25年3月】

7.4 ダム周辺の状況

7.4.1 ダム周辺整備の状況

九頭竜ダムの持つ広大な水と緑を活かして、よりすばらしい環境の創出を図るため、法面整備や緑化対策を進めており、これら利用者の安全対策、河川敷地の適正管理のため、ダム周辺環境整備事業を実施した。各地区の整備状況を表 7.4-1 及び図 7.4-1 に示す。

その他、九頭竜川ダム統合管理所九頭竜ダム管理支所に展示室が整備されている。また、ダムサイトに位置している旧和泉村を中心に、国民休養地整備事業及び特定山村新興対策パイロット事業により、九頭竜国民休暇地が整備されている。

表 7.4-1 地区別整備状況

地区名	整備テーマ	整備施設
長野地区	PR 広場	駐車場、案内板
野尻地区	展望と活動広場	法面整備、休憩所
下半原地区	観桜広場	散策路、キャンプ場
上半原地区	遊水広場	オートキャンプ場

【出典：九頭竜川流域誌 平成 12 年 10 月】



長野地区

野尻地区



下半原地区

上半原地区

上半原地区

図 7.4-1 九頭竜ダム周辺環境整備事業における各地区の整備状況

【出典：九頭竜川流域誌 平成 12 年 10 月】

7.4.2 ダム周辺施設の利用状況

大野市和泉地区(旧和泉村)における最近10年間の観光入込み客数を図 7.4-2に示す。最近10年間の観光入込み客数は、平成15年の約84万人が最も多く、平成16～24年は60～70万人で横ばいとなっている。平成24年は約64万人であった。

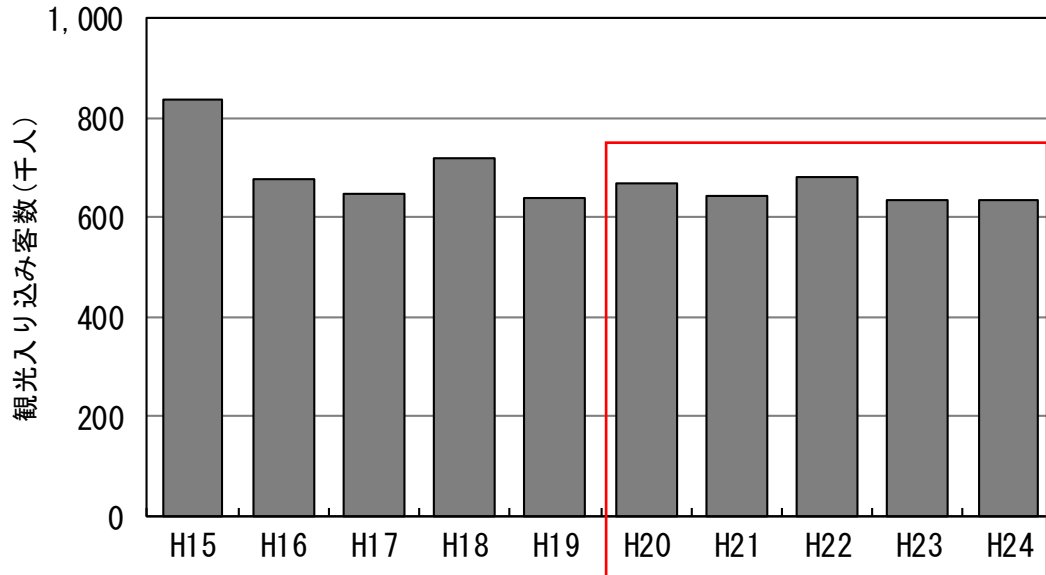


図 7.4-2 大野市和泉地区(旧和泉村)における観光入込み客数の推移

【出典：越前おおの観光戦略プラン 平成24年3月】

7.4.3 ダムおよびダム周辺のイベント等の開催状況

(1) 森と湖に親しむ旬間行事

九頭竜ダムでは、「森と湖に親しむ旬間」の行事の一環として、毎年九頭竜ダムと長野地下発電所の見学会を開催している。

この他、春季の「九頭竜新緑まつり」、秋季の「九頭竜紅葉まつり」など、多くの観光客が集まるイベントが開催されている。

28日(土) 29日(日) ダムのスケールを体感! 真名川ダム・九頭竜ダムのダム見学会を開催

28日(土) 10:00~16:00 真名川ダム
●真名川ダム 堤体内見学会
●美しい森づくりを目指して 展示と森のマスコット作り
●福井の森とダムについて学ぼう
●ダムマニア～ダムの魅力を語る～
●前部貯溜の流木プレゼント
●流木を有効利用したおが屑をプレゼント

29日(日) 10:00~16:00 九頭竜ダム
●九頭竜ダム ゲート室見学会
●長野発電所見学会
●高き128m・約700段の階段にチャレンジ!
●九頭竜の流木プレゼント
●森がはぐくむ湧水文化を学ぼう
●ダムマニア～ダムの魅力を語る～
●流木でアート、工作教室

28日(土) 11:00~16:00 福井県が管理するダムの見学・説明会

図 7.4-3 森と湖に親しむ旬間行事(九頭竜ダムと長野地下発電所見学会)開催の新聞広告



図 7.4-4 森と湖に親しむ旬間行事(九頭竜ダムゲート室・連絡通路見学)の様子



図 7.4-5 森と湖に親しむ旬間行事(長野発電所見学・木工教室)の様子

【出典：九頭竜川ダム統合管理事務所資料】

7.5 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

ダム湖利用実態調査は、「河川水辺の国勢調査(ダム湖版)」(国土交通省河川局河川環境課)により、平成3年度から3年ごとに実施しており、四季を通じた休日5日、平日2日の合計7日の現地調査(利用者アンケート調査:直接ヒアリング、利用者カウント調査)を実施し、年間利用者数の推定を行うものである。

平成21年度の結果によれば、年間利用者数は約2万7千人と推計された。

利用形態状況の年間推計値によると「散策」、「野外活動」が大部分を占めており、過去の調査結果から見てもアウトドア的な利用が大半を占めている。また、利用客数からみると減少傾向にあることがわかる。なお、平成3年度の調査の来場目的の設問は、「スポーツ」、「釣り」、「ボート」、「散策」及び「その他」であったが、平成6年度の調査からは、設問に「野外活動」と「施設利用」を追加している。

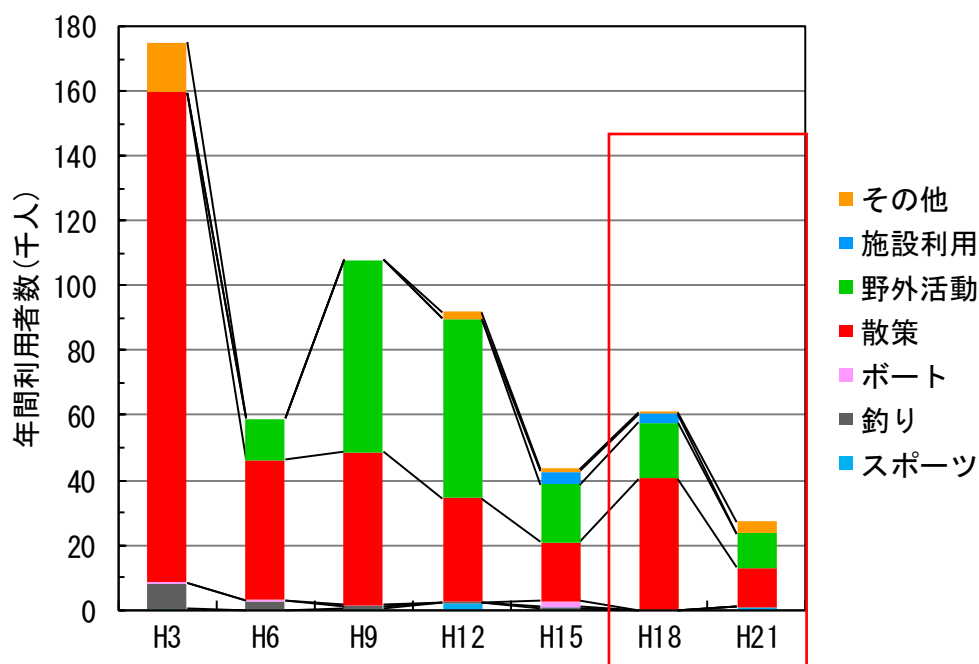


図 7.5-1 ダム湖利用実態調査結果

【出典：河川水辺の国勢調査結果(ダム湖利用実態調査編) 平成3年度～平成21年度】

表 7.5-1 九頭竜ダム湖年間利用状況

利用場所	平成3年度		平成6年度		平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度		平成21年度	
	利用者数	(%)	利用者数	(%)	利用者数	(%)	利用者数	(%)	利用者数	(%)	利用者数	(%)	利用者数	(%)
ダム	96.4	(55.1%)	34.7	(58.8%)	44.1	(40.9%)	31.4	(34.2%)	21.0	(48.4%)	27.5	(45.2%)	14.2	(52.0%)
湖面	20.0	(11.4%)	3.0	(5.1%)	1.3	(1.2%)	2.3	(2.5%)	2.6	(6.0%)	0.0	(0.0%)	0.9	(3.3%)
湖畔	58.7	(33.5%)	21.3	(36.1%)	62.5	(57.9%)	58.1	(63.3%)	19.8	(45.6%)	33.3	(54.8%)	12.2	(44.7%)
合計	175.0		59.0		107.9		91.8		43.4		60.8		27.3	

【出典：河川水辺の国勢調査結果(ダム湖利用実態調査編) 平成3年度～平成21年度】

7.6 まとめ

ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るため、平成 17 年 11 月に「九頭竜ダム水源地域ビジョン」を策定し、平成 18 年 2 月には旧大野市、旧和泉村の合併に伴い「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン」として、ビジョン推進委員会を設立し、施策の推進を図っている。

近年のダム湖周辺のイベントとしては「森と湖に親しむ旬間行事」、「九頭竜新緑まつり」、「カヌー体験、カヌーツーリング」、「九頭竜紅葉まつり」、「ダム周辺の紅葉情報の事務所 HP での提供」などが毎年開催され、多くの来場者があり、受益地域と水源地域の交流や地域コミュニティーの向上に努めている。

<今後の方針>

水源地域ビジョン推進委員会を通じて、大野市や関係機関等と連携した取り組みを継続するとともに、関係機関の間での情報の共有と横の連携の強化、各種取り組みの広報等を行っていき、地域との関わりを広げていく。また、通過交通が多い立地特性を活かし、近接道路の利用者を呼び込む取り組みを推進する。

7.7 文献リスト

「7. 水源地域動態」で使用した文献等を以下に示す。

表 7.7-1 「7. 水源地域動態」で使用した文献・資料リスト

No.	報告書またはデータ名	発行者	発行年月日	箇所
7-1	大野市勢要覧 2007	大野市	—	ダムの立地条件
7-2	記者発表資料 中部縦貫部分開通	福井河川国道事務所	平成 25 年 2 月 15 日	交通アクセス
7-3	福井県観光マップ	福井県	—	交通アクセス
7-4	国勢調査	総務省統計局	昭和 35 年 ～平成 22 年	人口・世帯数
7-5	事業所・企業統計調査	総務省統計局	昭和 44 年 ～平成 24 年	事業所数、 従業員数
7-6	九頭竜ダム水源地域ビジョン	大野市、 九頭竜川ダム 統合管理事務所	平成 17 年 3 月	水源地域ビジョン
7-7	真名川ダム・九頭竜ダム 水源地域ビジョン	大野市、 九頭竜川ダム 統合管理事務所	平成 18 年 2 月	水源地域ビジョン
7-8	真名川ダム他年次報告 書作成業務	九頭竜川ダム 統合管理事務所	平成 22 年 1 月	平成 20 年度九頭竜 ダムにおける地域 交流活動
7-9	九頭竜ダム年次報告書 作成業務	九頭竜川ダム 統合管理事務所	平成 23 年 2 月	平成 21 年度九頭竜 ダムにおける地域 交流活動
7-10	ダム管理フォローアッ プ年次報告書作成業務	九頭竜川ダム 統合管理事務所	平成 24 年 1 月	平成 22 年度九頭竜 ダムにおける地域 交流活動
7-11	ダム管理フォローアッ プ年次報告書作成他業 務	九頭竜川ダム 統合管理事務所	平成 25 年 3 月	平成 23, 24 年度九 頭竜ダムにおける 地域交流活動
7-12	九頭竜川流域誌	九頭竜川水系治水百 周年記念事業実行委 員会	平成 12 年 10 月	ダム周辺環境整備 事業
7-13	越前おおの観光戦略プ ラン	大野市	平成 24 年 3 月	観光入り込み客数
7-14	河川水辺の国勢調査結 果(真名川ダム湖利用実 態調査)	九頭竜川ダム 統合管理事務所	平成 3 年度～ 平成 21 年度	ダム湖利用実態調 査